

美術館

vol.152

だより

Houki Museum Information

2・3階展示室

写真の季節

植田正治の1970年代

4月10日(土) — 7月11日(日)

今回の展示では、植田正治の1970年代に注目します。植田にとっての1970年代は、非常に重要な意味もっています。

戦後間もなく発表した砂浜や砂丘での演出写真で高い評価を得た一方、リアリズム写真の台頭により、いわば自身の写真を見失いかけた植田が、1950年代、1960年代と自身の写真を模索し続け、1971年、写真集『童暦』（「映像の現代3」、中央公論社）を発表します。

この発表を機に、再び植田の写真が注目され、以降、植田は意欲的に活動を展開しています。特に雑誌での作品発表は数多く、1974年から10年以上にわたる「小さい伝記」の連載（『カメラ毎日』）はこの時期を象徴するシリーズです。この他にも、多彩な作品を発表し続けていますが、特徴的なのは、植田が雑誌に多くの文章を寄せていることです。

「植田正治写真教室」（1973年、『アサヒカメラ』）をはじめ、「植田正治写真作法」（1974年、『アサヒカメラ』）、「写談筆談」（1977年、『カメラ毎日』）、「アマチュア諸君」（1978年、『カメラ毎日』）など、アマチュアや若い世代の写真家へ向けたメッセージ、アドバイスが多く見られ、ベテラン写真家としての自覚と自信に満ちた10年だったことが強く感じられます。

この頃、植田は海外でも撮影をこなしていますが、今回の展覧会では、特に国内で撮影された作品に着目し、雑誌掲載作品と関連作品等から多彩な作品の数々を紹介し、70年近く写真を撮り続けた植田の生涯の中でも、もっとも充実した10年、写真を始めた頃と同様の旺盛な好奇心を抱きながら駆け抜けた「写真の季節」をお楽しみください。



シリーズ〈風景の光景〉より 1979-83年

1階D展示室 コレクション紹介展示

植田正治物語 — 写真するボク —

植田正治の生涯にわたる写真活動の軌跡を紹介

美術館 開館日変更のお知らせ

3月1日(月)から開館を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症再拡大の状況を鑑み、**4月10日(土)から開館**とさせていただきます。

問い合わせ先

伯耆町立植田正治写真美術館

TEL:0859-39-8000

メール | bijyutsukan@houki-town.jp

ホームページ | https://www.houki-town.jp/ueda/

◆開館時間 / 10:00~17:00 (最終入館は16:30)

◆休館日 / 火曜日(祝日の場合は翌日) ※5月5日は開館

町民無料招待券

(本券を切り取ってご利用ください)

写真の季節
植田正治の1970年代
見本

2021年4月10日(土) — 7月11日(日)

※本券1枚で1世帯様無料でご覧いただけます。

◆休館日:毎週火曜日(祝日の場合は翌日) ※5月5日は開館

伯耆町立植田正治写真美術館

伯耆町須村353-3 TEL:0859-39-8000